



- 原水及び浄水費** 河川水や地下水を安全な飲料水にするための経費です。
- 配水及び給水費** 皆様に水をお届けするための配水管・給水管の維持費用です。
- 業務費** 水道メータの検針、水道料金の請求と収納のための費用です。
- 人件費** 水道事業職員の人件費です。



水道の予算は、水道水をつくりご家庭に送り届けるための経費と財源の「**収益的収支予算**」と老朽化した水道施設を更新したり、新たな水道施設を整備するための経費と財源である「**資本的収支予算**」の二つで構成されています。

水道事業は、運営に必要な経費のほとんどを税金ではなく皆様からいただく水道料金によってまかなわれています。

平成19年度の主な事業

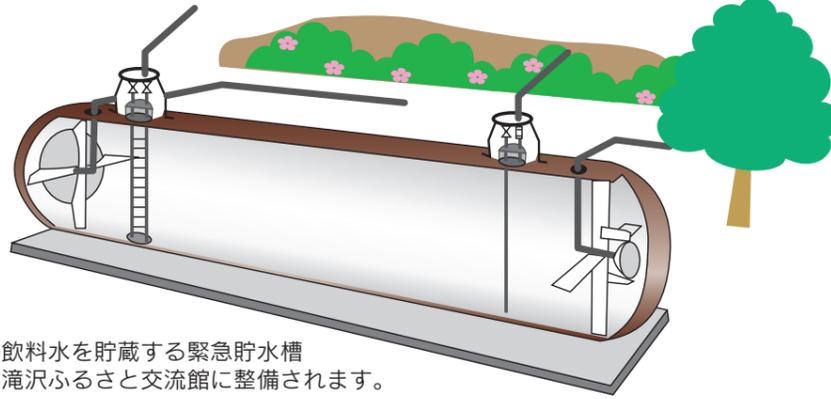
安心 皆様が安心しておいしく飲める水道をめざし、水源の保全や未普及地域の解消、配水管網の整備や老朽化施設の更新などに取り組んでいきます。

安定 災害に強く、いつでもどこでも利用できる水道をめざし、給水拠点への飲料水緊急貯水槽の整備などを計画的に進めていきます。

主な指標 配水管整備予定延長 6,693m
鉛製給水管率 6.1% (前年度7.8%)



主な指標 給水拠点1箇所増 (前年度 3箇所)
配水管路耐震化率8.5% (前年度7.0%)



平成19年度 滝沢村水道事業会計 予算の概要

●予算規模(消費税及び地方消費税抜き)

収益的収支予算 (水道水をつくりご家庭に送り届けるために必要な経費と財源) (単位:万円)

区分	平成19年度	平成18年度	比較増減	増減率	
収入(A)	水道料金収入	78,749	78,653	96	0.1%
	その他の収益	4,586	4,789	△203	△4.2%
	小計	83,335	83,442	△107	△0.1%
支出(B)	施設の維持管理費	33,193	30,528	2,665	8.7%
	人件費	12,185	11,863	322	2.7%
	減価償却費	20,847	20,420	427	2.1%
	借入金利息の支払い	8,356	8,908	△552	△6.2%
	小計	74,581	71,719	2,862	4.0%
収支差引(A) - (B) (純利益)	8,754 ^{※1}	11,723	△2,969	△25.3%	

※1 純利益とは、収支差引額から消費税などの影響額を除いたものです。

資本的収支予算 (水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源) (単位:万円)

区分	平成19年度	平成18年度	比較増減	増減率	
収入(A)	国等からの借入金	13,500	12,000	1,500	12.5%
	村からの出資金	1,498	1,444	54	3.7%
	工事負担金など	1,302	6,414	△5,112	△79.7%
	小計	16,300	19,858	△3,558	△17.9%
支出(B)	建設改良費	31,663	36,378	△4,715	△13.0%
	借入金元金返済	17,516	17,350	166	1.0%
	小計	49,179	53,728	△4,549	△8.5%
収支差引(A) - (B)	△32,879 ^{※2}	△33,870	991	2.9%	

※2 水道施設を建設・改良するために必要な経費が収支の差引きで不足する額3億2,879万円は、当年度損益勘定留保資金などで補てんします。損益勘定留保資金とは、減価償却費など実際の現金支出を伴わない費用に見合う収入で資本的収入の財源になります。

- 持続** 水道の運営基盤の強化や顧客サービスの向上に努めます。
○水道料金体系の見直しや業務の外部委託の調査検討
○各種情報の提供と需要者ニーズの把握
○地図情報システムの構築
- 環境** 健全な水循環に配慮した環境にやさしい水道をめざし、環境マネジメントシステムの活用や漏水防止に取り組んでいきます。

主な指標 漏水率 5.8% (前年度8.4%)



漏水箇所を調べるため、深夜に行われる配管路の音聴調査